



令和3年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 1 号
令和3年4月8日

学校教育目標

主体的に生きる人間の育成 <意欲・健康・豊かな心>

心はひとつに結ばれて

校長 富田 敦

心地よい春風が、今年も土呂の地に吹いています。今年には桜が早く、新学期に登校する生徒の出迎えは、菜の花の黄色いじゅうたんと花壇の花々がその役を担います。

開校 26 年目となる土呂中学校は、138 名の新入生を迎え、全校生徒 434 名、教職員 49 名でスタートします。開校以来の学校教育目標「主体的に生きる人間の育成<意欲・健康・豊かな心>」を継承し、その具現化を目指し、教職員一同全力で教育活動に取り組んでまいります。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら教育活動を進めます。ご家庭におかれましても、毎朝の検温や帰宅時の手洗い、消毒などを行い、感染防止に取り組んでいただきたいと思います。

今年度、土呂中学校の教育は二つの大きな変革を迎えます。1つは国が定めた新しい「学習指導要領」に沿った学習が始まること、もう1つは市が推し進めている「GIGAスクール構想」に基づいた学習方法に取り組んでいくことです。

新学習指導要領には「学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、その先の人生につながってほしい。社会が大きく変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、一人ひとりが思い描く幸せを実現してほしい。」という願いが込められており、これを実現していくために「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から『何を学ぶか』だけでなく『どのように学ぶか』も重視して授業を改善する。」としています。新学習指導要領により、教科書の内容が新しくなります。評価も変わります。これまで通知表にABCで記載されてきた項目が4観点から3観点になります。詳細は改めてお知らせします。土呂中学校では、平成30年度から研究してきた「主体的・対話的で深い学び」をベースとし、新学習指導要領の理念を具現化するよう、日々の授業を改善していきます。

GIGAスクール構想では、生徒全員に1台ずつ手渡されるタブレットPCで学習を進めます。土呂中学校では、市内公立中学校随一と自負するICT環境を生かしながら、タブレットPCを情報共有や思考を深めるツールとして有効に活用していきます。

先日、着任した大野佳男教諭（音楽科）は土呂中学校について、「緑が多く空気がきれい。自然豊かで恵まれた教育環境だと感じました。生徒がよくあいさつをしてくれて、そのあいさつも言葉がはっきりとしています。緊張していた私をあいさつでほっとさせてくれました。これから土呂中学校での生活が楽しみになりました。」と笑顔で話してくれました。

また今年も土呂中学校でいい出会いがあったようです。本年度もよろしく願います。



3月に満開を迎えた土呂中の桜



土呂中生を待つ花壇



新入生は来年の桜をお楽しみに。



修了式の日、桜を背に下校する土呂中生